

まだらの風



令和7年7月18日
学校便り No.8
校長 原口 真

『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』

～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

はやくも1学期が終わります。2学期の文化発表会に向けて、2年生の二人が中心となって実行委員会を運営しています。テーマは「友情共奏 輝け my personarity(いろいろどりの物語)」、ご期待ください。

中学1年生社会科見学、2・3年生修学旅行～学校を離れ探究・発見

7月2日、中学1年生は社会科見学を実施しました。玄海エネルギーパークで原子力発電所によるエネルギー発生の仕組みを学んだ後、名だたる武将が集まった名護屋城跡での歴史学習、玄海海中展望塔の見学を行いました。地元の歴史や自然を学んだり、生活を支える施設への関心を高めたりする有意義な一日となりました。



7月1日から3日にかけて、中学2・3年生は広島方面での修学旅行を実施しました。1日目は本場広島のお好み焼きを味わったあと、原爆投下中心地にある本川小学校、原爆ドーム、平和記念公園を訪れました。現地で見える被災の実際は子どもたちの心を動かす力があり、折り鶴を捧げた平和集会で一人ひとりが平和への思いを新たにしました。2日目は宮島にわたり、しゃもじ作り体験のあと世界遺産厳島神社を散策。昼食はご当地グルメを各自でセレクトし、夜は広島球場でナイター観戦を実施。現地ファンの人情にふれながらスポーツの興奮を体感しました。3日目は広島城を見学のと、広島駅構内で過ごしてから新幹線等乗り継いで馬渡島へ戻り3日間の旅行を終えました。子どもたちの学びに向かう姿勢、自分たちで旅行を作り上げる意気は素晴らしく、しっかり楽しむ姿もほほえましいものでした。思い出に残る旅行であったことを願います。



フグ稚魚放流～郷土の資源と環境へ意識を高める～

7月4日、ふぐ稚魚放流を行いました。玄海水産振興センターと延縄船団の皆様のご協力のもとで行っています。ふぐ漁は主に五島列島などの外海で行われますが、稚魚の生育は内海が適し、島の北側、塩屋ノ浦の入江あたりまで漁船で回ります。子どもたちは、一匹一匹の稚魚に「かわいい」と目を細め「元気に帰ってきてね!」と優しく放流しました。漁船に乗って馬渡島を一周し、ふだんは見るできない島の景色(ヤギも元気でした)を見ることができました。限りある資源について考え、郷土の豊かな海を体感し、環境を守る意識を高めるよい機会となりました。



三島交流会～加唐小中・小川小中と親交を深めました～

7月9日、加唐小中学校で三島(馬渡・加唐・小川)交流会を行いました。小中学生それぞれアイスブレーキングを行ったあと、小学生は合同プール授業の水中綱引きで盛り上がり、中学生は総合の発表会で意見を交流しあいました。最後は体育館で小中合同レクリエーション。3校児童生徒混成の4つのグループを作って玉入れや大玉転がしで大いに盛り上がりました。子どもたちは、「みんなとの関係を深められてよかった」「思ったよりしゃべれたのでよかったです。来年も楽しみです」「普段10人以上で集まることがないので、とても新鮮な気持ちになりました」「加唐中や小川中の人、自分が思いもなかった視点を発表していてとても有意義な時間となりました」などと振り返っていました。



読書の楽しさにふれる～近代図書館 読み聞かせ会～

7月11日、唐津近代図書館から講師をお招きして読み聞かせ会を実施しました。持参された大判の絵本の読み聞かせやブックトークをしていただき、「ぜったいにおしちゃダメ?」の絵本のボタンに興味しんしんでのぞきこんでいました。読書の楽しさを味わった後、近代図書館から持ってこられた図書を手に取って熱心に読みふける様子が見られました。

